

# 平成28年度事業計画書

## はじめに

この法人は、平成9年に「財団法人深川高齢者職業経験活用センター」として設立され、平成25年4月法律改正により「一般財団法人深川高齢者センター21」と名称を変えた。

更に平成26年8月、それまでの主として高齢者を対象として行っていた事業を、新入社員から高齢者までと対象範囲を拡げる事を目的に、「一般財団法人前川ヒトづくり財団21」と名称を変えた。

今後の目標としてはこの秋に「公益財団法人」への移行認定を目指す事としたい。

## 事業目的

公益財団法人化に向けて下記の通り事業を進める事としている。

この法人は、人口の高齢化と若年労働力の減少、更に労働期間の長期化する社会にあって勤労者の年代毎の生涯能力開発を推進すると共に高齢者が長年の経験と工夫を通じて蓄積した潜在能力が活かされる環境作りを図り、勤労者の福祉の増進と社会の活力と経済の維持、発展に寄与することを目的とする。

## 事業内容

この法人は、目的を達成するため、次の事業を行う

- (1) 勤労意欲のある者への講座、セミナー育成事業
- (2) セミナー受講者を対象とした相談・助言事業
- (3) 生涯現役社会を創るための調査・研究
- (4) その他、前条の目的実現の為に必要な事業

2 前項の事業については、日本全国で行うものとする

## 事業内容の説明

### (1) 勤労意欲のある者への講座、セミナー育成事業

1. 各世代に渡っての場所性と共同体意識を養い、高める『場所的自己発見研修』
2. 各世代が価値観、目的意識を共有し、新しい付加価値を創出する『目的展開（機能展開）研修』
3. 高齢者の能力、持ち味を発揮出来る場所作りのセミナー
4. 生涯現役社会の実現をめざしている企業トップによるセミナー
5. 若手経営者向けの中高齢者の活用を図るセミナー
6. 脳を発達させ続け、生涯現役脳を作る『生涯健康脳を作るためのセミナー』
7. 「生涯現役」を目指す上で場所性（共同体性）を高めるセミナー
8. 大学とタイアップして「生涯現役社会」を目指す冠講座を開設し、広く学生に危機感を伝えていく。

(2) 相談・助言事業

1. 場所的自己発見研修修了者を対象としたキャリアコンサルティング

(3) 生涯現役社会を創るための調査・研究

1. 職場内で「生涯現役」活動を行う上での若年層との相互交流のあり方とその支援方向の調査
2. 成人期、中年期、高齢期各期の発達課題達成のあり方について職場、家族とさらには、地域活動との調整・統合の観点で調査
3. 多くの高齢者が健全な「生涯現役」活動に従事出来る条件を調査し抽出する。
4. 「生涯現役懇話会」：生涯現役社会への取り組みを考える場
5. 「生涯現役を考える委員会」：発達心理学、高齢者心理学、教育情報学の専門的立場から生涯現役社会のあり方を探る。

(4) その他、前条の目的実現の為に必要な事業

1. 各種フォーラム等
  - 1) 急速な高齢化は我々にとって初めての経験であるが、組織や個人はどんな準備や対応をすればいいのか意見を交わす会
  - 2) 生涯現役社会の実現をめざしたワークショップ

その他報告事項

1. 公益法人化について